

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

# よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.22 2009.6.30



## 福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会  
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10  
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006  
URL <http://www.kikusui-net.jp>

## 第18回YOSAKOIソーラン祭終わる



大通8丁目の群舞

### 今年の6月は、なにか変

札幌の6月は、例年 YOSAKOI そーらん祭と北海道神宮の例大祭で賑やかにあけ、薫風さわやかな初夏を迎えるのが例年でした。しかし、今年はそれに反して曇天や雨の日が多く見られました。それでも、YOSAKOIそーらん祭では若者のエネルギーが爆発しましたし、神輿も粛々と練り渡りました。月末には、大通で花フェスタが開催されます。札幌にもうすぐ初夏の気配を運んできてくれることでしょう。





# 21年度第1回高齢者ふれあい交流会開催



出席された高齢者の皆さん

6月25日(木)午前10時から、菊水地区会館において今年第1回目の「高齢者ふれあい交流会」が開かれました。

開会を待ちわびていた高齢者の方々が、続々と会場に詰め掛けて、その数160名となりました。

今年から福まちの事務局長となった佐藤剛さんの司会で会が始まり、冒頭真鍋



挨拶する真鍋会長

地区社会福祉協議会会長から「高齢者の閉じこもりをなくし、元気で長生きを目指すことが、この会の目的です。」と説明があり、「福まち関係諸団体の活動を評価するとともに、今後の成果に期待する」という励ましの言葉がありました。



司会の佐藤事務局長

## 閉じこもり予防についての寸劇 ～お出かけ達人になろう～

毎回、介護予防に関する寸劇を演じてきました。今回は、これまで名優を演じてきて、大変評判になっていた介護予防センターの菊地さんが、体の不調で出演できず、その代役として白石社会福祉協議会の武山さんが出演しました。



寝てばかりの周子

彼の劇中の役柄は、太りすぎて腰を痛め入院している菊子さんの妹「周子(しゅうこ)」です。その周子は、姉の病気の原因は、出歩きすぎが原因であると思い込んでいます。そのため、家に閉じこもっ



ていることが一番安全なのだと信じているのです。劇のあらすじ

そんな周子を心配して、近所の「みやさん」と「さきさん」は、みやさんが通っている「すこやか倶楽部」に周子を誘ってみようと考えます。そこへ朝のジョギングで通りがかった民生委員の山田さんに相談すると「大変いいことです。ぜひ誘ってあげてください」と勧められます。二人は、後



周子をたずねる

日周子の家を訪れ、閉じこもっていると足腰が弱ると説得するが、自分は「閉じこもり」ではないと聞き入れません。【ここで、ナレーターから閉じこもり危険度テストが紹介され、参加者と一緒にテストを行う】周子はすべての項目で危険とチェックされるが、閉じこもり



民生委員に相談する二人

【ここで、ナレーターから閉じこもり危険度テストが紹介され、参加者と一緒にテストを行う】周子はすべての項目で危険とチェックされるが、閉じこもり





介護予防センターの菅野さんが訪ねてくる

ではないと、終いには怒り出す。介護予防センターに相談すると、後日センターの菅野さんが周子を訪ねる。このコンタクトで少しその気になっているところへ、ある日、二人が誘いに来る。仕方なく今日だけという条件で倶楽部に参加する。

【ここで、劇中にすこやか倶楽部の活動が再現される】三人と一緒に参加者も深呼吸の後、大きな声を出し、指を広げて体操をした後、割り箸と輪ゴムを使ったゲームにすっかり打ち解ける。倶楽部の帰り道、周子はこの次も参加してもいいと二人に約束する。その後、周子は倶楽部に参加するだけではなく、積極的に散歩をするようになる。

【ここで、会場の参加者に、散歩して楽しいところを



はいー 大きく息を吸って



割り箸ゲームに興ずる

【ここで、会場の参加者に、散歩して楽しいところを教えてほしいと問いかけると、コンベンションセンターの芝生に寝転がると楽しいとか、イーアスの中をぶらぶら歩くのも楽しいなどと色々な答えが返ってくる】最後にナレーターから、皆さんもご近所や友人と声を掛け合ってお出かけ達人になってくださいと勧められ、幕を閉じる。

この後、一階の会議室では、色々なコーナーが設けられ、参加者はそれぞれお目当てのコーナーに散っていきました。

### 健康相談・血圧測定コーナー



手作りコーナー

保健師さんたちによる健康相談や血圧測定には、日頃健康に関心のある人たちが詰めかけて、それぞれの心配事に答えを求めていました。手作りコーナー・囲碁将棋コーナー

手作りコーナーでは、ポケット・ティッシュ入れの綺麗な小箱を作りました。囲碁将棋



血圧測定コーナー



完成したティッシュボックス

コーナーでは、囲碁の達人たちが盛んに激戦を交わしていました。

### ゴミ分別展示コーナー

7月から始まるゴミ有料化に参加者の関心が集まり、分別展示コーナーでは参加者の真剣な話し合いが続いていました。

### ランチタイム

お昼のランチタイムには白石区長さんも参



ゴミ分別展示コーナー



白石区長さん



劇の中ですこやか倶楽部が始まる



武山さん 宮崎さん 水野さん 山田さん 菅野さん





ランチタイム風景

加し、ご挨拶の後、メニューとして初めての麺類である「天麩羅うどん」に舌鼓を打って帰られました。真夏日の元、大量のうどんに挑戦してくださったのは、いつものボランティアの皆さんで、手際よく温かいうどんを給仕してくださいました。「美味しかった」「有難う」の感謝の言葉が飛び交いました。  
午後のショータイム



汗だくの配膳



午後からは、今回初めてのプロ芸人による伝統芸能切り紙の妙技が演じられました。東北以北ただ独りの女流切り紙師 kiligamist 千陽(ちあき)さんは、妖艶なスタイルで次々と紙にはさみを入れ、ドラゴンやドラエモンなどを切り抜いていました。次に切り抜くものを当てるクイズでは、参加者の皆さんは積極的に手を上げ、正解者の人には作品が渡されました。



### 「福まち」事務局長を退任して

皆様には、平成17年から20年までの4年間、ご支援お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

就任当時、私は菊水東連合町内会副会長の職にあったことで、あて職的に「菊水地区福祉のまち推進センター運営委員会」の事務局長に指名されました。福祉に関してまったく知識も経験もない者が、事務局長の職は到底無理と辞退しましたが、関係者の皆さんが同じような状態なのだから、みんなで力を合せて一緒に取り組みましょうと励まされたことと、運営委員長が菊水南連合町内会会長の細野会長と知り、就任することにいたしました。

平成15年度から「地区福祉のまち推進センター」の開設が促進される中、少し出遅れていた菊水地区は活性化の対象となり、各分野で取り組む事業が多く、やりがいのある仕事と知らされました。

平成17年度は、「ふれあい交流会」を3回開催しましたが、会を追うごとに全スタッフの気が合い、みなさんはいつも自然に接していただき、本当の協働を感じていました。この絆が福まち事業の成功につながったことは疑いのない事実です。

その後、菊水東連合町内会会長を3年間担務しましたが、この間に、東連町会館の内部を改造し「菊水地区福祉のまち推進センター事務所」の開所に漕ぎ着けました。平成19年3月27日開所式を挙げる事ができたことも、何か縁の深さを感じています。

私は、色々な仕事をさせていただきましたが、幸いにも周りの人々に恵まれ、いつも楽しく過ごさせていただき感謝あるのみです。ありがとうございました。

元菊水地区福祉のまち推進センター運営委員会事務局長

井東 宏



### ホームページ開設速報

昨年からお知らせしていましたが、菊水地区のホームページが一応の完成を見て、試験公開の段階になっています。

ただ、記事の充実を図るため内容の精査や作業の継続中で、公開まではいまだ少しお待ち願うこととなります。

作業の途中ですが、ご覧になりたい方は次のURLでご覧になれます。

<http://www.kikusui-net.jp>

### 編集後記

曇天の日が去り、あっという間に真夏日が訪れています。気候の変化に素早く順応して体調の維持に努めましょう。都合で「よつクロ」の発行が少し遅れました。(編集委員 枝元)